

令和3年度 あべの翔学高等学校 学校評価

I めざす学校像

- 1 人徳を経とし実務を緯とする
人徳と実務を兼ね備え、将来、社会で貢献できる生徒を育成することを建学の精神とし、「立志、礼節、誠実、勤勉」を校訓とする。
- 2 学力だけでなく「こころ」の面での成長を大切にし、生活指導面での厳しくもきめ細やかな指導をととして社会生活に適切に対応し、活躍できる教育活動を実践する。

II 中期的目標

- 1 安全管理
新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、生徒・教職員の健康を守る。
- 2 進路指導
生徒・保護者の希望、本人の実力を勘案して、適切な進路指導を行う。
- 3 学習指導
十分に基礎学力が備わっているとは言えない生徒が散見される。基礎学力の定着を図る。
- 4 生徒指導
基本的な生活習慣の習得
- 5 生徒会・クラブ活動への積極的参加
生徒会(学校行事)、課外活動を通じ、勉学との両立を図りながら、秩序・リーダーシップ・協調性等のチームワークや人間関係の育成を図る。

III 本年度の取組内容及び自己評価

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 安全管理	(1)新型コロナウイルス感染症対策の徹底	a 教室、クラブ活動等において3密の防止 b マスク、手洗い、換気の徹底	a クラスターを発生させない b 安全に配慮した学校行事の実施	a 生徒、教職員の感染が発生し、学級閉鎖及び、数日間の全校休業をせざるを得ない状況もあったが、早期対策に努めた。 b 1年を通して新型コロナウイルス感染症に対して慎重な対応を行った。 入学式・卒業式：人数を制限し実施 修学旅行：日程縮小し近県で実施 体育祭：3年生のみ実施
2 進路指導	(1)進路指導対策の早期実施	a 進路希望調査の早期開始、早期対策	a 四年制大学進学率向上	令和3年度(令和4年3月卒業)の進路結果は以下のとおり。 進路先 人数(構成比) [対前年] 大学 105名(40%) [+4%] 短大・専門 109名(41%) [△2%] 就職 29名(11%) [+1%] 未定 22名(8%) [△2%] 合計 265名(100%) 前年に比べ四年制大学進学者が4%増加しており、逆に短大・専門・各種学校

				進学が2%減少しているが、進学者全体としても前年比1%の増加であった。 進学者比率が落ち込まないよう、生徒一人ひとりの目標設定を明確にしてゆく。																
3 生徒指導	(1)基本的な生活指導の習得	a 遅刻指導強化期間の設定 b 服装、身嗜み指導の徹底 c 人権教育の徹底	a 遅刻回数の削減に努める b 通学路立ち番指導 100% c 人権教育回数	a 遅刻回数の学年別推移は以下のとおりである。(回/人・年) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年次</th> <th>2年次</th> <th>3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年</td> <td>12.6</td> <td>24.9</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>8.9</td> <td>8.5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>5.4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 各学年とも前年度に比較して遅刻回数は減少してきている。 c 教職員人権研修会を実施(10月20日)		1年次	2年次	3年次	3年	12.6	24.9	12.9	2年	8.9	8.5	—	1年	5.4	—	—
	1年次	2年次	3年次																	
3年	12.6	24.9	12.9																	
2年	8.9	8.5	—																	
1年	5.4	—	—																	
4 生徒会・クラブ活動	(1)クラブ活動の活性化	a クラブ参加率の向上 b 市大会、府大会等での成績向上	a 軟式野球部、軽音楽部、吹奏楽部の大会成績向上	新型コロナ禍の中ではありますが、運動系クラブ、文科系クラブともに感染防止に苦慮しつつ活発に活動した。 主な大会成績等は以下のとおり。 1. 軟式野球部 秋季近畿高校軟式野球大会 優勝 2. 吹奏楽学部 演奏会(あべのキューズモール) 定期演奏会(フェニーチェ堺)																

IV 総合評価

評価	自己評価	次年度の改善方針
B	本年度は新型コロナ感染症対策を念頭に置きつつも、少しでもコロナ禍以前の学校生活に戻すことを行ってきました。 その結果、規模は縮小しまひたが、体育祭、修学旅行等の高校生活ならではの行事を無事終えることが出来ました。 一方、大学進学率は少しづつではありますがアップしており、四年生大学進学率は40%を超えてきました。 また、遅刻回数は毎年改善しており、教師の地道な指導の成果が表れている。	令和4年度1年生より1人1台タブレット端末によるIT学習を推進してゆく。従来型の生徒と教師との個別指導を尊重しつつ、画像、動画、音声等によるバーチャルな学習効果も期待できる。 学校生活では、遅刻指導、進路指導、テスト返却などあらゆる場面において生徒一人ひとりと面談を行い、生活面・学習面での姿勢を改善して行く。